

歴代の城主

中世大多喜城

武田氏(信清・直信・朝信)	16世紀代正木氏以前に在城か
正木時茂 ^{ときしげ}	天文14 1545 正木時綱嫡子 里見氏を代表して上杉謙信等と交渉する大膳亮と称す
正木信茂 ^{のぶしげ}	永禄4 1561
	永禄7 1564
正木憲時 ^{のりとき}	永禄9 1566 大膳亮と称す
正木時茂(時亮) ^{ときしげ}	天正9 1581
	天正9 1581
	天正18 1590 里見義頼の次男で小田喜正木氏を継承

近世大多喜城

本多忠勝 ^{ただかつ}	十萬石	天正18 1590	徳川四天王の一人とうたわれた家康の重臣 天正18年秋に入城
		慶長6 1601	その後、伊勢国(三重県)桑名城に移る
本多忠朝 ^{ただとも}	五萬石	慶長6 1601	本多忠勝の次男 大坂夏の陣で戦死
本多政朝 ^{まさとも}	五萬石	元和元 1615	本多忠朝の甥 播磨国(兵庫県)龍野城に移り、後に姫路城主となる
阿部正次 ^{まさつぐ}	三萬石	元和3 1617	相模国(神奈川県)小田原城に移る後に大坂城代となる
		元和5 1619	
青山忠俊 ^{ただとし}	二萬石	元和9 1623	下総国網戸に移る
阿部正能 ^{まさよし}	一萬石	寛永15 1638	武蔵国(埼玉県)忍城に移る
		寛文11 1671	
阿部正春 ^{まさはる}	一万六千石	寛文11 1671	三河国(愛知県)刈谷城に移る
稲垣重富 ^{しげとみ}	二万五千石	元禄15 1702	領地が狭いため、わずか21日で下野国(栃木県)烏山城に移る
		元禄15 1702	相模国甘縄城より大多喜城に移り、子孫世襲して明治維新に至る
松平正久 ^{まさひさ}	二萬石	元禄16 1703	松平正久の嫡男
		享保5 1720	
松平正貞 ^{まささだ}	二萬石	享保5 1720	松平正貞の嫡男
		寛延2 1749	
松平正温 ^{まさはる}	二萬石	寛延2 1749	松平正貞の養子 松平信祝の第三子
		明和4 1767	
松平正升 ^{まさのり}	二萬石	明和4 1767	松平正温の嫡男 城主在任約36年
		享和3 1803	
松平正路 ^{まさみち}	二萬石	享和3 1803	松平正升の嫡男
		文化5 1808	
松平正敬 ^{まさたか}	二萬石	文化5 1808	松平正路の嫡男
		文政9 1826	
松平正義 ^{まさよし}	二萬石	文政9 1826	松平正路の第四子 松平正敬の養子となる
		天保8 1837	城内に藩校明善堂を設立する
松平正和 ^{まさとも}	二萬石	天保8 1837	松平正敬の次男 松平正義の養子となる
		文久2 1862	夷隅の海岸に砲台を築き、黒船の来航に備える
松平正質 ^{まさただ}	二萬石	文久2 1862	間部詮勝(幕府老中)の第五子 松平正和の養子となり幕府の老中格に進み、鳥羽伏見の戦いに出陣 明治2年版籍を奉還する 本姓に復して大河内と改姓 大多喜藩知事となる 明治4年 280余年にわたる大多喜城の歴史に終止符を打つ
		明治4 1871	

交通アクセス



【電車・バスをご利用の場合】

大多喜駅(いすみ鉄道)下車徒歩約15分

茂原駅(JR外房線)から小湊バス大多喜行きで「久保」下車・徒歩約20分
都バス大多喜行きで「大多喜駅」下車・徒歩約15分

【自動車をご利用の場合】

館山自動車道市原I.C.から33km・約50分

木更津北I.C.から38km・約55分

■ご利用案内

開館時間 午前9時から午後4時30分まで(入館は午後4時まで)

休館日 月曜日(休日の場合は開館して、翌日休館)

年末年始、その他臨時休館

入場料	一般	高校・大学生
個人	200円	100円
団体割引	160円	80円
中学生以下・65歳以上	無料	

企画展開催中は別料金となります
学生の方は学生証、65歳以上の方は年齢が証明できるものをお持ちください
団体割引は20名以上(無料入場者含む)の場合に適用されます
障害者手帳をお持ちの方は本人と介助者1名は無料です

〒298-0216 千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481
TEL 0470-82-3007(代表) FAX 0470-82-4959
<http://www.chiba-muse.or.jp/SONAN/>

大多喜城

Otaki-jō Castle Museum



千葉県立中央博物館
大多喜城分館

ちび